

評価結果概要表

作成日 平成 22 年 3 月 31 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0570811349号
法人名	カブシキガイシャ 株式会社 サイトー商会
事業所名	グループホーム太田ふくし苑
所在地	大仙市太田町横沢字久保関北716-1 (電話) 0187-88-2337
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成22年3月9日

【情報提供票より】 (平成22年2月1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 15 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 (常勤 6 人 非常勤 2 人 常勤換算 7 人)

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79 歳	最低 64 歳	最高 88 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	仙北組合総合病院、大仙市立太田国保診療所、大仙市立太田歯科診療所
---------	----------------------------------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

開設時から「地域と共にゆっくり、のんびり生活していこう」を理念に掲げ、利用者が喜び、笑顔でいることを職員の喜びと捉え、熱意を持ってケアにあたっている。事業所の2階には系列の有料老人ホームがあり、普段の生活や行事、レクリエーションなど自然に交流し、一つ屋根の下で利用者同士が支え合いながら生活している。地域との連携が年々充実しており、事業所や地域行事を通じて交流しているほか、避難訓練には地域の消防団が参加して2階からの避難誘導を行うなど、緊急災害時における協力・支援体制を確保している。また、運営推進会議や家族会を定期的に開催して運営状況や情報を共有し、家族の意向を集約して運営推進会議で検討するなど、それぞれの役割や機能を理解して有効に活用している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	改善計画シートに基づき、地域との連携やトイレのプライバシー確保、地域と協力しての避難訓練実施や看取り介護計画の作成など、優先順位を決めて具体的な改善につなげている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回評価結果を基に改善計画シートを作成し、管理者及び計画作成担当者が検討しながら自己評価に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	複数の地区会長や地域の消防団などが参画し、外部評価結果に基づいた改善課題を検討しており、終末期における看取り介護計画の作成や感染症マニュアルの見直しなど具体的な取り組みにつなげている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱や家族会を設置して意見集約に努め、職員の名札携帯や外出機会の確保など様々な要望が出されており、インフルエンザ対策として感染症マニュアルを見直すなど改善につなげている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣住民が事業所行事に参加したり畑や花壇の手入れを手伝い、地域消防団と共に避難訓練へ参加しているほか、小中学校の体験学習受け入れや各種ボランティアの訪問など、着実に地域に根ざした関りが増えてきている。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域と共にゆったり、のんびり生きていこう」と理念を掲げ、「家族的にのんびり」の方針に基づき、利用者の笑顔を引き出すよう心がけながら取り組んでいる。			開設時から「地域と共にゆったり、のんびり生活していこう」との理念を掲げ、利用者の喜びが職員の喜びとなるよう熱意を持ってケアにあたることを方針としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に職員の目に入るように理念を玄関に掲示し、毎月の全体会議やミーティング、申し送りなどで理念を確認し合いながら共有している。			理念を玄関に掲げ、月1回の全体会議や毎日のミーティングなどでケアの状況と理念を確認し、のんびりとゆったり過ごせるよう話し合っている。		
	3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関等に掲示し、さりげなく理解してもらえるようにしている。					
2. 地域との支えあい								
	4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	周りは市役所の支所、農協、診療所、銀行、郵便局等と官公庁街である。各事業所の職員等とは夏、秋のお祭りなど行事等をきっかけにしておつきあいをいただいている。					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	平成21年7月4日ふくし苑夏まつりに地域住民利用者家族を招待して交流をした。アトラクションとして地域芸能グループ17人からボランティアで出演してもらいました。また、地域の秋祭りに利用者の作品を展示するなど利用者を地域にこけこむようにしている。			前回評価結果を受けて事業所の夏祭りに近隣住民や家族を招待したり、小中学校の体験学習を受け入れるなど、積極的に地域との関わりを深めている。 また、花壇や畑の手入れを通じて近隣住民が事業所を訪れているほか、公民館行事への利用者の作品展示や踊りのボランティア受け入れなど、地域との交流に努めている。	○	理念に沿って地域との関りが深まってきているため、今後は町内会への加入や近隣福祉施設等とのネットワーク構築など、さらなる連携に努めてほしい。
	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	時間的ゆとりがないため、取り組んでいない。					
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	記録様式で重複している部分を見直し、実践しています。また、職員全員の自己評価も実施しています。			前回評価結果を参考にしながら管理者及び計画作成担当者が自己評価しており、改善計画シートを作成して改善につなげている。	○	評価の目的や意義を全職員が共有し、全員で自己評価に取り組むことをめざしていることから、今後は組織全体で評価に取り組み、ケアに対する考え方を共有しながら改善につなげてほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回開催しホームの状況報告や災害時などの対応について協議検討しており、マニュアル作成など具体的な改善につなげている。また、協議内容は職員にも報告し、課題等を共有しながらサービスの向上に努めている。			複数の地区会長や地域の消防団、家族会会長などが参画して2か月毎に開催しており、事業所の状況を報告して意見を求めている。 また、外部評価結果に基づいた改善事項を提起し、家族会からの要望等についても意見交換しながら改善につなげている。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当者とは必要に応じて相談・助言を得ている。また、地域包括センター、地域の施設・事業所等とは研修会や会議等で知り合い連携を図っているが、情報の共有までにはいたっていない。				生活保護受給者や権利擁護事業の利用者がいるため、行政担当者や社会福祉協議会等と相談しながら支援している。 また、平成22年度にスプリンクラーの設置を予定しており、行政からの助成の申請など連携している。	○	地域包括支援センターの保健師に健康指導を依頼するなど、今後も行政及び関係機関との積極的な関わりを持ちながら利用者を支援してほしい。
	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会等で学ぶ機会を持つとともに、過去に地域権利擁護事業を使いながら入所された方があったのでその人を事例にして話あった。 必要な人には、制度の活用を進めていきたい。						
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者等は、高齢者虐待防止関連法等の研修会に出席して学んでいる。また、苑内でも虐待をすることのないよう日頃から職員に喚起しており徹底している。						
4. 理念を実践するための体制									
	12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等をされるときは、利用者や家族、管理者計画担当者、担当介護員が一堂に会し、説明し了解のもとで行っている。						
	13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特に機会は設けていないが、何時でも苦情等を話せる環境になっているし、小さなことについては即決で対応している。						
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月のたよりで利用者の生活の様子を写真付きで伝え、小遣い帳や請求書、受診結果などを報告している。 また、行事時の家族会での意見交換のほか、手紙や電話でも速やかに連絡している。				「太田ふくし苑だより」を毎月発行し、事業所の様子を写真付きで知らせているほか、利用者一人ひとりの生活や金銭管理状況を手紙で報告している。 また、定期的に家族会を開催して運営状況など報告しているほか、電話連絡などでも随時に情報を提供している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事等の際に家族会（4回開催した。）を開催して意見を集約しているほか、運営推進会議でも意向の把握に努め、玄関にも意見箱を設置している。また、生活相談員、職員と家族との信頼関係を築きながら家族の潜在的思いの把握に努めている。				意見箱の設置や家族会の開催、家族の面会時や電話連絡時などに意見や要望を確認している。 また、家族会で集約した意見を運営推進会議に送り、具体的な対策を検討しながら改善につなげている。	○	家族会を通じて様々な意見や要望が出されているため、一つひとつ職員間で共有・徹底を図り、サービスの向上につなげてほしい。
	16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われるスタッフミーティングのさい、職員の意見を聞き年間事業計画等の中に取り入れ行っている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	苑として行う大きな事業のさいは、必要な職員の確保のため、話し合いを行い調整に努めている。					
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の就労環境の整備に努めたい。本年4月頃職員の休憩室の増築を行うよう考えている。			利用者の担当者を決めているが、できる限り全職員で関わりながら支援するよう努めており、系列有料老人ホーム2か所との異動時にも利用者が動揺しないよう気配りし、互いにフォローしている。	○	職員のモチベーションが利用者へのサービスに直結するため、今後予定している職員休憩室の増築を含め、職員の働きやすい職場環境づくりに尚一層取り組んでほしい。
5. 人材の育成と支援								
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修への参加を積極的に進めたい。			外部研修には職員の自発的参加を促し、職種や希望等に応じて全職員がそれぞれに研修を受講している。 また、研修内容を月2回のミーティング時に報告し、知識の共有に努めている。	○	職員の離職や異動に伴い、新任職員への教育方針や職員一人ひとりの目標などを明確にし、それに基づいた内部及び外部研修の年間計画を作成するなど、段階的にスキルアップできる仕組みづくりを検討してほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や同業者職員相互交流・研修会へ積極的に参加させている。			県及び圏域の連絡協議会に加入し、職員が互いの事業所を訪問して実践を学び、交流しながら情報交換に努め、サービスの向上に生かしている。		
	21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員旅行、新年会等を通して職員のストレス解消を図っている。					
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各種研修への参加により各自の向上心を醸成している。					
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
	23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用予定者等の状況に応じ居宅、病院、施設等を訪問し、状態を把握するとともに不安なこと、どんなサービスをしてもらいたいを聞く機会を作り、受容する努力をしている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用予定者家族等の居宅を訪問し、介護するうえで不安であったこと、どんなサービスを求めているのかを聞く機会を作り、受容する努力をしている。					
	25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に来た時、契約をされ入所されてから次の日には、初期計画を作成するよう努めているので、その際、必要な支援を見極めて対応するようにしている。					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	平成21年4月1日指定を受け、11月に利用希望者がありましたが、昼寝の場所がないので増築をしながら、入居利用者との良い関係を作りたい。			事前に本人及び家族が事業所を訪れ、雰囲気などを確認したうえで利用している。 また、病院退院時に面会のうえアセスメントを行い、訪問時に優しく温かく迎えるなど馴染みながら利用できるよう配慮している。	○	認知症対応型通所介護の指定を受けているため、事前に通所介護を利用して事業所に慣れてもらうなど、多機能性を有効に生かして利用につなげてほしい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援								
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と一緒に花壇や畑づくりを行い、収穫して喜び合い、漬物など人生の先輩として学び、支え合う関係を築いている。また、利用者のできることや役割を尊重し、共に行う姿勢で利用者との時間を共有している。			野菜づくりや漬物の漬け方、花壇の手入れ方法など利用者の経験や生活の知恵を職員が教わり、習字などの特技も生かしながら共に支え合う関係づくりに努めている。		
	28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月のおたより、家族会、苑行事、家族の訪問などに、出来るだけ本人の状況をお知らせし、その中から興味のあること、出来ることを見い出し、実践に繋げている。					
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	出来るだけ苑を訪問していただき、本人と家族が打ち解けやすい環境作り、例えば部屋の掃除、整理・整頓、お茶の提供、時には部屋に同席し相談に乗るなどして支援している。					
	30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	苑の運営に支障がないければ本人の希望を取り入れ支援に努めている。					
	31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食卓等の配置換をして、気の合う仲間や面倒見の良い人をお願いしながら一人一人が孤立することのないよう配慮している。					
	32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された本人家族に対しても、苑での大きな行事、夏祭り等にはご招待をし繋がりを持っている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント									
1. 一人ひとりの把握									
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者及び家族から暮らしの情報を得て、さまざまな場面でできることを確認したり、言葉をかけて確認するなど希望意向等の把握に努めている。また、何度も丁寧に声かけ、確認するなど時間をかけて利用者の思いを感じ取り支援につなげている。				利用者との普段の会話から思いや意向を感じ取るよう努め、意思表示が難しい方には何度も声をかけ、ゆっくり時間をかけて意向を確認しながらケアに反映させている。		
	34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の基本情報の収集、アセスメント、再アセスメントや日常の介護活動のなかで、その生活環境等の把握に努めている。						
	35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員は、介護記録等各種記録や介護活動により一人一人の心身等の現状を把握するよう努めている。						
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し									
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画の変更等のある場合はミーティングで現場の介護職員に説明し、話し合いをして作成しています。				計画作成担当者が担当職員の意見を踏まえてアセスメントし、ミーティングで全職員で検討しながら介護計画を作成している。 また、職員の異動等があっても標準的なサービスを提供できるよう計画作成担当者と職員が連携しながらケアにあたっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見取り計画を作成した時は、家族と関係職員と話し合い現状に即した新たな計画を作成しています。				「ケアマネジメント実践マニュアル」の様式を使用して詳細なモニタリングを行い、定期的な見直しに反映させている。 また、介護記録や経過支援記録、申し送り簿、生活チェックシートなどから見直しの必要性を把握し、職員や家族と相談しながら随時に見直している。		
	38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月出される利用者家族への手紙、介護記録、モニタリング、アセスメント認定調査等の情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。						
3. 多機能性を活かした柔軟な支援									
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人都合に出来るだけ合わせて医療機関等（内科、歯科を含め）への受診。理美容への送迎介助等通じて柔軟に対応している。				空床利用型の認知症対応型通所介護の指定を受け、地域のニーズに応えられる体制を整えており、利用者がのんびりと過ごせるよう増築も予定している。 また、事業所の2階にある系列有料老人ホームの看護師によるサポートや家族に代わっての通院支援など柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
	40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	福祉事務所、大田総合支所、消防署、消防団、銀行、郵便局等との協力をいただきながら本人、家族への支援を行っている。					
	41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	積極的な働きかけまで行っていないが、互いに必要が生じたときは連絡をと取り合いながらサービス利用できるよう支援している。					
	42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人・家族からの希望もないので、地域包括センターとの協働はしていません。					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の希望と了解をいただきながら苑近くにある大田診療所、同歯科診療所、こまち薬局等適切な医療が受けられるよう支援している。				利用者のかかりつけ医や協力医への受診、協力歯科医による往診のほか、系列事業所の看護師による応援体制もあり、慢性疾患を抱えている利用者の健康管理に努めている。 また、近隣薬局とも連携し、薬の配達や説明を受けながら服薬を支援している。	
	44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	職員及び利用者が認知症の相談、診断・治療等が受け受けやすくするため、医師等との良い関係が築けるよう努力したい。	○		もっと積極的に医師、看護師等との良い関係を築けるように努力したい。		
	45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設している有料老人ホームの看護師と地域の診療所の看護師との連携を密にし、相談をしながら利用者との健康管理や急変時の対応を行っている。	○		これまで以上に連携を密にし良い関係を作るよう努力して行きたい。		
	46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した際には、数回病院等を訪問、利用者を見舞いする。同時に心身の状況を担当看護師等から聞き、情報交換をするとともに退院の日程を調整して対応している。					
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期を迎えた利用者の看取り介護計画を作成し家族の承諾印をいただき、家族と最後まで連絡を取り合い看取った。葬儀にも管理者が出席しています。				前回評価結果を受けて事前に利用者及び家族の意思を書面で確認し、事業所で看取る場合は「看取り介護計画書」を作成して終末期に対応している。 また、看取りのケアマニュアルに沿い、タイミングを逸さないよう家族、医師と綿密に連携しながら利用者の状態把握に努めている。	○ 事前に意思確認しているが、現在は看護師が不在のため入院せざるを得ない状況のため、看護師の確保など看取りに向けた体制整備に努めてほしい。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期においては、見取り計画を作成し家族の承諾のもとに家族と最後まで連絡を取り合い進めて行く。、かかりつけ医等には、チームを組んで支援をお願いするまではいたっていないが重度化等の時期には逐次説明をし協力いただけるようになっている。						
	49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えによるダメージを話し、情報交換をしたことはない。本人や家族の希望で住み替えしているのをそれを認め行っている。						
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援									
1. その人らしい暮らしの支援									
(1) 一人ひとりの尊重									
	20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレには、「使用中」の名札を掲げカーテンもフック鍵をつけて外から開けられないようにした。また、個人情報については、同意書を取っている。			利用者の目線に合わせ、服薬時にも穏やかに声かけしており、個人記録等は事務所内のロッカーで施錠管理している。 また、前回評価結果を受けてトイレのカーテンに「使用中」の札や外から開けられないようフックを取り付けるなど工夫している。		
	51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人思いや希望を第1にとらえわかりやすく説明して納得いただきながら介護活動をしている。						
	21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大概のことは利用者の意向に沿って活動しているが、毎日どのように過ごしたいかを聞いてまでは支援していない。			できる限り自宅と同じように、食事や入浴時間などある程度の目安はあるが決して強制することなく、自由に過ごしてもらうことを心がけている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援									
	53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の望む理髪・美容店に行けるように支援している。						
	22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方にはお願いしている程度で積極的に職員側からはお願いしていない。			食材の皮むきや後片付けなど利用者ができることを手伝い、メニュー以外にも食べたいものがあれば急遽変更や追加している。 また、毎食のデザートのほか午前・午後のおやつを提供し、食事を楽しめるよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒については、本人の病状歴からしていくら望んでも認めない。たばこについては、本人の健康のことを考えれば控えさせたいが、本人がどうしても吸いたいと行動で示すのでやむを得ず1日2本吸わせている。 その他については、ある程度自由である。					
	56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように「尊厳の保持」に配慮して支援している	一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして行っている。しかし、利用者によっては、機能低下により、どうしてもリハパン、オムツ等をおこななければならない人もおり、その際は、本人、家族等と良く話し合い納得をいただきながら使用している利用者もいる。					
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴を基本とし、希望があれば、何時でも対応できるように心がけている。 また、入浴を拒む方には丁寧に声かけしながら促し納得のうえで入浴シャワー浴、清拭などで支援している。			週3回の入浴を基本としているが、それ以外でも希望があれば入浴できるよう柔軟に対応している。 また、同性介助についての意思を確認し、入浴を拒む方には声かけや促し方を工夫したり、シャワーや清拭などで清潔の保持に努めている。		
	58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	出来るだけ、本人の意向や習慣に沿って休息・安眠できるよう支援している。					
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が状況に応じて畑での野菜づくりや花壇づくり、花の水やり、モップかけや漬物などの役割をもっている。 行事の際に少量のお酒を飲んだり切り絵や習字などの趣味活動、買い物、ドライブ等楽しんだりフレッシュ出来るよう支援している。			調理の下ごしらえや洗濯物たたみ、日めくりカレンダーめくりなど利用者の状態に応じて役割を担っている。 また、習字や塗り絵、囲碁などの趣味活動を取り入れ、行事時にはお酒を飲む方など楽しく過ごせるよう支援している。		
	60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人及び家族の意向等を取り入れそれに沿って対応している。また、お金の管理ができる人については、自由に買い物していただいているし、出来ない人についても相当のお金を渡して、買い物そのものを楽しめるよう支援している。					
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な外出支援には出来るだけ応じている。			前回評価結果を受け、散歩や買い物、通院やドライブなどで週1回以上は外出できる機会づくりに努めている。 また、車イスの方でも外出できるよう、系列有料老人ホームの車輛を借りて柔軟に対応している。		
	62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者と一緒に医療機関等の受診の帰りをとらえて天候をみながら、周辺の公園、観光地、神社等を訪れリフレッシュを図っている。 また、月別の行事でも、場所等について検討し利用者の意向を考え計画し支援している。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の依頼に沿って、電話を掛けてやったり、はがきや手紙の投函や配布をするなどして支援している。					
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室の掃除、整理・整頓をして何時来られて良いようにしている。また、家族等が訪ねられた際は、イス等の搬入、お茶の接待をして対応し、ゆっくりと過ごせるよう工夫している。					
(4) 安心と安全を支える支援								
	65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置していますが、現在該当者はおりません。					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	夜は玄関には施錠は必要と思われるが、徘徊の利用者に対しては出来るだけ話を聞くようにしていきたい。			事業所の周辺は田畑や川に囲まれているため危険箇所が多く、利用者の安全を第一に考えて玄関は常時施錠し、チャイムと併用して外出の意向を把握している。 また、外に出たい場合は職員が付き添うほか、家族への面会や外食などの対応を依頼している。	○	前回評価でも課題としているが、引き続き近隣住民による見守りと協力を働きかけるとともに、利用者の行動パターンや業務量などから職員に余裕のない時間帯のみ施錠するなど、部分的な開放から徐々に鍵をかけないケアに取り組んでほしい。
	67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の昼夜を通じ、見守り等を行い利用者の所在、様子の把握、安全に配慮している。					
	68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	その人にとっての危険な物と思われるものは家族と相談し持ち帰ってもらうか、または苑内で適正に保管している。					
	69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修会、講習会の参加や苑内の消防避難訓練（2回/年）等を実施し理解を図っている。 また、職員が一人ひとりの状態を把握し、共通理解のもとに事故防止に取り組んでいる。					
	70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	平成20年8月、大曲仙北広域消防本部主催の普通救命講習会を受講。実践訓練を実施している。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防職員の指導のもとに地域住民、地域消防団の協力を得て、夜間を想定した避難訓練を4月と10月に実施した。			消防計画に基づいて年2回の避難訓練を実施し、地域住民と消防団員が参加して避難誘導にあたっている。 また、常備灯や火災警報を設置し、スプリンクラーの設置も予定している。	○	避難経路について消防署の指導があり、今後の増築に併せて改善し、利用者の安全確保に努めてほしい。
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者の体調の変化に注意しながら、リスクが伴うときは、直ちに家族に連絡したり、家族の訪問時や電話等で話し合い対応している。					
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルサインのチェックや本人の心身状況を把握し、早め早めの受診に努めている。					
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェック表（介護記録に記載）でチェックし誤嚥等のないよう努めている。					
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者の状況により、飲食物の工夫や体操、機能訓練等を提案し働きかけている。					
	76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後とは行かないが、一人ひとりの口腔状態により力に応じた支援をしている。					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は出来るだけ季節のものを取り入れた献立表を作り、食事を提供するように努めている。			生活チェックシートで利用者一人ひとりの食事・水分量を把握し、摂取カロリーにも気を配りながら職員が交代で献立を作成している。	○	前回評価でも課題としている栄養点検について、引き続き専門家によるチェックとアドバイスを受けられる仕組みを検討してほしい。
	78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染対応マニュアルを作成し対応している。うがい、手洗い、インフルエンザの予防接種、流行期における消毒等を励行している。					
	79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、台所、調理器具の消毒、手洗い等を行い衛生管理に努めている。また、新鮮な食材を毎日買出しをするなど食材の安全・管理に努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1) 居心地のよい環境づくり								
	80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周り等の掃除、シンプルな飾り付けをして、清潔で威圧感のない環境づくりをこれまで以上に工夫して行きたい。					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には季節の草花や利用者の作品を飾り、テーブルやソファを配置して自由に落ち着いて過ごせるよう環境づくり努めている。			共有空間は明るく、日中はホールや手すり、テーブルをアルコール消毒して清潔の保持に努めている。 また、冷暖房を完備し、花や手作りのカレンダーなどを飾り家庭的な雰囲気づくりに努めている。	○	廊下が広く、移動式フックが設置しているため、利用者の作品を飾るなど工夫するとともに、増築に併せて利用者が横になれるスペースも確保し、快適な空間づくりに努めてほしい。
	82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル、イス、ソファの配置に工夫をして対応している。					
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドや鏡台、棚などを設置し、入居時に利用者及び家族と相談のうえ馴染みのダンスやテレビなど持ち込み、レイアウトも自由に決めている。また、居室の入り口には自分の部屋が理解できるような名前を大きく表示するなど工夫している。			洋室と和室があり、それぞれに使い慣れた家具や生活用品を置き、写真を持ち込むなどして個性ある生活空間づくりを支援している。		
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇等を取り付け、空気よどみや外気温と大きな差が無いよう換気に気を付けている。					
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床のバリア（段差にはスロープを設置）、手すり、電動ベッド、昇降機、車椅子等を用意し安全で自立した生活が送れるよう工夫している。					
	86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員は、利用者一人ひとりの意向等を受容し理解をいただきながら介護支援を行い、自立して暮らせるよう工夫している。					
	87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日に外での食事やお茶会をしたく苑前の広場にテーブル、イスを並べて食事等をしました。利用者の方々には、奥羽山脈の山並みや田んぼを見ながら、心地良い風に吹かれながら食事等を楽しんでいただきました。	○	これまで以上に回数を増やして行きたい。			

※ は、重点項目。

項目		自己評価	
		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
V. サービスの成果に関する項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

周りには、市役所の支所、農協、医科診療所、歯科診療所、銀行、郵便局 マックスバリュウー等官公庁街である。奥羽山脈の山並み、田んぼ、公園等がそろっており、街としては利便性が良く、静かで景観が良くゆったりとした気持ちで生活出来る事業所です。特に、医療については、定期受診、急患を含めて利用者が行きたいと言うときはほぼ思いどおりに行けますしそれに向けて支援している。